



9月21日から23日まで、秋の彼岸会をお勤めさせていただきました。お参詣ありがとうございました。つたない話でしたが、仏法聴聞のご縁、これからも大切に結んでくださいますよう切に念じております。

今回、「同朋」（どうぼう）という言葉みなさんと共有したいと思い、いくつかの言葉を紹介しました。宗祖親鸞聖人は「親鸞は弟子一人ももたずそうろう」とおっしゃられ、本願寺第8代蓮如上人はこの言葉のおこころを「聖人は御同朋・御同行とこそ、かすずきておおせられけり」と受けとめられました。

「御同朋・御同行」（おんどうぼう・おんどうぎょう）とは、南無阿弥陀仏によって開かれる、上下を超えた水平な人間関係を表しているのでしょうか。そして、単なる仲間意識を意味するのではなく、意見が対立する者同士に対しても呼びかけられた言葉だと思えます。つまり、差別や排除を繰り返している「わたし」の視点からは出てこない言葉であり、煩惱が尽きることの無い自らの姿を教える如来の視点から呼びかけられた言葉が「御同朋・御同行」ということでしょう。

宗祖親鸞聖人御命日定例 ごあんない

2024年9月28日（土）

午前9時30分から11時30分まで

夜8時から9時30分まで

長崎組第1ブロック「同朋の集い」ご案内

日時：2024年10月4日（金）午後1時から4時まで

会場：光永寺（長崎市桶屋町）

さまざまなお寺、それぞれの違いを超えて「御同朋・御同行」と出会っていきましょう！お申し込みはお寺までお願いします。

